

部局名

農学部 畜産草地科学科

担当: 井戸田 幸子



テーマ

草とともに



『草地』は世界の陸地面積の約37.1%を占め、ステップ、プレーリー、サバンナな様々な名称で呼ばれています。草地は、野生動物の生活の場でもあり、家畜のエサ作りの場でもあります。また、草地には雨や風で土が流されるのを防ぐ土壌保全機能もあります。

私は、いつどんな種をまき、いつ収穫すれば効率よく、質の良い草ができるか？いい草を育てるにはどんな肥料を撒けばいいか？など環境に配慮しながら持続的に草地を利用するための研究に取り組んでいます。



詳細内容はQRコードから確認できます

のうがく図鑑: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-ags/post-18.html>



### 中国青海省の草地の放牧されている家畜 (ヤク)

低温・乾燥などの気象条件で主食となる穀物の栽培に適さない地域では古くからウシやヒツジなどの家畜に自然の草を食べさせて、そのミルク・肉・毛などを人間が利用してきた。黒い点のように見えるのが放牧されているウシ科の家畜のヤク。



### 放牧草地の草量を測定するために設置したプロテクトゲージ

放牧草地では、草は常に家畜や動物に食べられているため、正確な草の生産量を測定するのは難しい。プロテクトゲージは、草を守るために設置する。



### 生育3ヶ月で4mを越える大型のソルガム

ソルガムはイネ科の作物で、ソルゴー、モロコシ、マイロ、コウリヤン等の名称で呼ばれ、世界中で広く栽培されている。

日本では主に家畜のエサとして利用され、大きいものでは約5mに成長する。